

令和 6 年度事業報告

1. 概括

令和 6 年度の我が国経済は、内外の情勢に大きく左右されながらも、緩やかな回復基調を維持する形で推移した。政府の経済政策や日銀の金融緩和姿勢、海外経済の影響、そして物価上昇などの要因が複雑に絡み合い、我が国経済の動向に大きな影響を与えた。円安に伴う原材料価格の高騰や人材難を背景にした賃上げ要求の強まりなど厳しい経営環境が続くなか、我々は令和 6 年度の同友会活動を行った。

主な同友会活動としては、例会が年間10回実施、加えて通常総会 1 回、正副代表幹事会 4 回、幹事会 2 回を行った。

一方、同友会活動のもう一つの柱である委員会活動については、7つの委員会がそれぞれ学習、議論を重ね活発な活動を行った。第二次企業経営研究委員会を 8 月に立ち上げ活動を始めたのはじめ、地域経済活性化委員会においては「地域経済活性化に向けた提言」を取りまとめ、12月に奈良県に対し提言を行った。また、女性活躍推進委員会においては、年度内に提言書を取りまとめた。

本年度は海外視察研修として、10月にフランス（パリ、ルーアン、モンサンミッシェル、レボードプロバンス、サンテミリオン等）へ視察研修を行った。

対外交流活動では、4月に第36回全国経済同友会セミナー（福井大会）、7月に第10回西日本経済同友会代表者会議（大阪市）、10月に第121回西日本経済同友会会員合同懇談会（松山市）、11月に2024年度全国経済同友会代表幹事円卓会議（神戸市）、2月に第63回関西財界セミナー（神戸市）などに積極的に参加し、学習、交流を深めた。

また、関係経済諸団体と連携して、リニア中央新幹線の名古屋以西の早期開業、京奈和自動車道の建設促進要求などを積極的に推進した。

以上のとおり、本年度の当会は、引き続き、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、志の高い政策集団をめざして活動を展開した。

2. 通常総会等会議

通常総会		
5月16日	令和6年度通常総会 議事 第1号議案 令和5年度事業報告並びに同収支決算報告について 第2号議案 令和6年度事業計画(案) 並びに同収支予算(案) について 第3号議案 令和6・7年度新役員選任について その他報告事項 ・特別会員の委嘱について ・今後の委員会運営について ・2026年西日本経済同友会会員合同懇談会奈良大会開催について ・今後の予定について 記念特別講演会 演題：「変える勇気が奈良の未来を切りひらく」 講師：奈良県知事 山下 真 氏	奈良ホテル 大和の間 総会出席者90名 講演会出席者105名 懇親会出席者80名

正副代表幹事会		
第1回	4月5日	新規入会候補者審査について
第2回	7月12日	新規入会候補者審査について
第3回	1月15日	新規入会候補者審査について
	3月5日	第4回正副代表幹事会 打ち合わせ会
第4回	3月19日	・令和6年度収支決算(着地見込み)について ・令和7年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について ・新規入会候補者審査について ・令和7年度新役員選任について ・令和7年度委員会運営について ・その他
		< 書面審議 > < 書面審議 > < 書面審議 > 奈良経済同友会事務局 出口、中村、井阪 奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者10名

幹事会		
第1回	4月24日	第1号議案 令和5年度事業報告並びに同収支決算報告について 第2号議案 令和6年度事業計画(案) 並びに同収支予算(案) について 第3号議案 令和6・7年度新役員の推薦について 第4号議案 特別会員の委嘱について
第2回	7月19日	第1号議案 特別会員の委嘱について < 書面審議 >

3. 月例会

月例会		
4月11日	4 月例会 演題：「最新医学と最新システムで新しい生命の誕生を支援する！ ー奈良県立医科大学附属病院高度生殖医療センターの使命ー」 講師：奈良県立医科大学産婦人科学・教授 同大学高度生殖医療センター・副センター長 木村 文則 氏	奈良ホテル 金剛の間、大和の間 出席者75名 (懇親会57名)
6月18日	6 月例会 演題：「ゼロから上場まで！～新しい農産物流通への挑戦～」 講師：株式会社農業総合研究所 代表取締役会長CEO 及川 智正 氏	ホテル日航奈良 飛天 出席者73名 (懇親会62名)
7月10日	7 月例会 演題：「変化のリスクをチャンスと捉え、行動を起こす ～万博を機に、長期停滞からの脱却を～」 講師：一般社団法人関西経済同友会 代表幹事 宮部 義幸 氏 (パナソニック ホールディングス株式会社 取締役副社長執行役員)	奈良ホテル 大和の間 出席者91名 (懇親会59名)
9月26日	9月例会 視察先：明石海峡ブリッジワールド	明石方面 参加者20名
10月28日	10月例会 演題：「不確実性の中におけるリーダーシップ論」 講師：株式会社企業支援総合研究所 パートナー 藤森 義明 氏	ザ・ヒルトップテラス奈良 出席者78名 (懇親会67名)
11月21日	11月例会 演題：「沖縄から見た安全保障の現状と課題 ～有事にどのように対応するか～」 講師：沖縄経済同友会 代表幹事 瀧辺 美紀 氏	奈良ホテル 大和の間、金剛の間 出席者72名 (懇親会54名)
12月13日	12月例会（忘年会） コンサート：Violinist S H O G O	ザ・ヒルトップテラス奈良 出席者70名
1月31日	1月例会（同友会報告会、奈良国立大学機構との情報交換会及び交流・懇親会） 奈良経済同友会報告会 令和7年年頭所感説明 委員会活動報告 奈良国立大学機構との情報交換会 ◇「我が国の大学の現状と奈良国立大学機構の取組」 奈良国立大学機構 理事長 榊 裕之 氏 ◇「奈良教育大学の特色ある取組・実績と課題・展望」 奈良教育大学 学長 宮下 俊也 氏 ◇「奈良女子大学の特色ある取組・実績と課題・展望」 奈良女子大学 学長 高田 将志 氏 副学長 中山 満子 氏 ◇「リカレント教育についての取り組み」 奈良カレッジズ連携推進センター特任教授 伊崎 昌伸 氏 ◇「育児期女性の就業継続と再就業ー奈良と全国ー」 奈良女子大学大学院人文科学系教授 水垣 源太郎 氏	奈良ホテル 大和の間 出席者88名（うち当会65名） (懇親会64名(うち当会46名))

	◇「女性活躍推進委員会からの提言」 奈良経済同友会 特別幹事 井村 守宏 氏	
2月19日	2月例会 演題：「時間を生み出し、成果を伸ばす！～生産性と営業力を高める瞬読活用術～」 講師：株式会社瞬読 代表取締役 山中 恵美子 氏	ホテル日航奈良 飛天 出席者71名 (懇親会53名)
3月7日	3月例会 演題：「文化による人作り街作り」 講師：芸術文化観光専門職大学学長 劇作家・演出家・劇団「青年団」主宰 平田 オリザ 氏	奈良ホテル 大和の間、金剛の間 出席者70名 (懇親会58名)

4. 委員会活動

令和7年年頭所感起草委員会			
第1回	10月24日	令和7年年頭所感で扱う基本テーマについて	奈良県経済倶楽部 5階小会議室 出席者13名
第2回	11月12日	令和7年年頭所感骨子について	プロム近鉄奈良駅前 出席者12名
第3回	12月12日	令和7年年頭所感起草文の検討・確認について	奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者14名

企業経営研究委員会			
第1回	8月2日	議題：顔合わせ 副委員長決定 今後の活動内容・スケジュールについて	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者17名
第2回	11月5日	テーマ：経営課題について考える	ならしんアットマーク 出席者21名
第3回	1月22日	テーマ：経営課題に関するトレンド＆ソリューション	リコージャパン(株) 本町橋事業所 ViCreA大阪 出席者16名
第4回	3月11日	レクチャー及び討議：「採用が上手くいっている会社の秘訣」 株式会社採用と育成 代表取締役 鎌倉 美智子 氏	南都商事本店 セミナールーム 出席者19名

地域経済活性化委員会			
第11回	4月30日	議題：提言書（案）の検討	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者12名
第12回	7月19日	議題：提言書（案）の検討	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者15名
第13回	10月4日	議題：提言書（案）の確認・決定	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者13名
	12月2日	「地域経済活性化に向けた提言」を奈良県山下知事へ提出、記者発表	奈良県庁 出口、菊池、石田、井阪

大阪・関西万博推進委員会			
第1回	7月10日	議題：新委員顔合わせ 副委員長決定 今後の予定について	奈良ホテル 若草の間 出席者20名

西日本経済同友会会員合同懇談会奈良大会実行委員会			
第1回	7月31日	議題：顔合わせ 副委員長決定 今後の活動内容・スケジュールについて	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者16名
第2回	12月2日	議題：開催日、開催地の検討について テーマについて 愛媛大会の報告について	奈良県経済倶楽部 5階大会議室 出席者17名
第3回	2月3日	議題：テーマ(サブテーマ等) の検討・決定	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者12名

女性活躍推進委員会			
第14回	7月29日	議題：提言書（案）の検討	奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者6名
第15回	10月10日	議題：提言の最終案について	奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者8名

総務委員会			
第1回	6月13日	議題：令和 6 年度総務委員会の活動内容について 会費等に関する細則の改定について 今後の予定について	ザ・ヒルトップテラス奈良 出席者12名
第2回	10月28日	議題：新入会申込者事前審査について 12月以降例会等企画について 上半期収支進捗状況報告について	ザ・ヒルトップテラス奈良 出席者7名
第3回	12月17日	新入会申込者事前審査	< 書面審議 >

5. その他の事業活動

親睦活動		
6月8日	春のゴルフ親睦会	春日台カントリークラブ 参加者27名
8月3日	なにわ淀川花火大会	淀川河川敷 参加者9名
11月2日	秋のゴルフ親睦会	奈良国際ゴルフ倶楽部 参加者31名
1月25日	若草山焼き観覧会 ピアノ & ヴォーカル 長谷川 恵美 氏	ザ・ヒルトップテラス奈良 参加者41名

その他		
4月10日	会計監査（森田監事 代理 森田会計事務所 坂上怜氏）	奈良経済同友会事務局
4月15日	会計監査（近東監事）	奈良経済同友会事務局
5月15日	経済講演会（奈良商工会議所、奈良経済同友会 共催） 演題：「最近の金融経済情勢と今後の展望」 講師：日本銀行 理事 大阪支店長 中島 健至 氏	奈良商工会議所 出席者97名（うち当会71名）
7月23日	井村守宏 前代表幹事 慰労会	春日ホテル 出席者63名
9月18日	大阪・関西万博会場視察	万博建設現場 参加者5名
10月14日 ～19(6日間) ～22(9日間)	令和6年度海外視察研修 パリ市内視察、日本政府観光局パリ事務所長レクチャー、ベルサイユ宮殿視察 ルーアン、モンサンミッシェル島観光、 アヴィニョン、レポードプロヴァンス、カルカソンヌ、トゥールーズ観光	フランス 参加者25名
1月7日	令和7年経済3団体合同記者会見 （奈良商工会議所、(一社)奈良経済産業協会、奈良経済同友会 合同）	ホテル日航奈良 出口、中村
1月7日	令和7年経済4団体合同新年名刺交換会	ホテル日航奈良
3月4日	経済講演会（奈良商工会議所、奈良経済同友会 共催） 演題：「最近の金融経済情勢と今後の展望」 講師：日本銀行 理事 大阪支店長 神山 一成 氏	奈良商工会議所 出席者95名（うち当会62名）

6. 他地区経済同友会との懇談交流

4月16日	6経済同友会代表幹事懇談会	ホテルグランヴィア大阪 井村、出口、井阪
4月18日 ～19日	第36回全国経済同友会セミナー（福井大会） 総合テーマ：どうする！人口減少NIPPON ～“幸福度日本一”の地で考える～ パネル討議（第1セッション）：人口減少社会の将来展望と課題 パネル討議（第2セッション）：人口減少時代の企業経営を考える ～エンゲージメントの観点から～ パネル討議（第3セッション）：今、あらためて地域創生を考える 特別講演：「食から貧へ」～生き方の転換～ 曹洞宗大本山永平寺 副監院 西田 正法 氏	フェニックス・プラザ コートヤード・バイ・マリオット福井 参加者1,178名 （うち当会21名）
7月18日	第10回西日本経済同友会代表者会議（大阪市）	ホテル阪急インターナショナル 出口、中村、井阪
9月5日 ～6日	2024年度全国経済同友会事務局長会議（仙台市）	ホテルメトロポリタン仙台 中井
10月11日	西日本経済同友会代表幹事会（愛媛県松山市）	愛媛県県民文化会館 出口、中村、井阪
10月11日 ～12日	第121回西日本経済同友会会員合同懇談会（愛媛県松山市） テーマ：感動が創る地域価値を未来へ！～歴史・文化・自然 誇れる愛媛の地やけん～ 基調講演：「地方創生の未来を拓くツーリズムの役割」 東京商工会議所副会頭 日本商工会議所特別顧問 (株)JTB相談役（元JTB代表取締役会長）田川 博己 氏	愛媛県県民文化会館 参加者622名 （うち当会13名）
11月25日	2024年度全国経済同友会代表幹事円卓会議（神戸市）	神戸ポートピアホテル 出口、中村、井阪
2月6日 ～7日	第63回関西財界セミナー テーマ：「強靱に、果敢に、羽ばたく関西～未来社会のデザイン元年～」 基調講演：「わたしたちは『よき祖先』になれるか」 僧侶 松本 紹圭 氏 第1分科会：「ポスト万博を見据えた関西の未来図」 第2分科会：「日本初・日本型『循環経済（サキユウエコノミ）』で新産業創出を目指そう」 第3分科会：「未来社会を『教育』でデザインする～次世代人材育成における企業の役割～」 第4分科会：「災害対応における企業および地域の防災力向上にむけて」 第5分科会：「激動の国際情勢下におけるグローバルリスクと企業経営」 第6分科会：「これからの都市の力」 特別講演：「大阪・関西万博への期待と万博後の関西経済について」 元民法解説委員長、海洋冒険家 辛坊 治郎 氏	神戸ポートピアホテル 井阪
3月13日	3経済同友会（滋奈和）情報交換会	和歌山市 出口、中村、井阪、 中井

7. 関係諸団体会議への出席等

4月	12日	奈良健康経営セミナー	奈良県コンベンションセンター 井阪
	16日	なら産地学官連携プラットフォーム 実務者会議	<リモート会議> 井阪
	17日	大阪・関西万博奈良県実行委員会	ホテルリガール春日野 井阪
5月	22日	奈良県地域産業振興センター 監事監査	奈良経済同友会事務局 井阪
	29日	奈良県地域産業振興センター 令和6年度第1回理事会	奈良県産業振興総合センター 井阪
6月	4日	ジェンダーギャップセミナー	奈良公園バスターミナル 井阪
	6日	リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会 監事監査	奈良商工会議所 井阪
	13日	なら産地学官連携プラットフォーム 第2回企画運営チーム会議	<リモート会議> 井阪
	13日	奈良県地域産業振興センター 令和6年度第1回評議員会	奈良県産業振興総合センター 井阪
	18日	京奈和自動車道建設促進奈良県民会議 会計監査	ホテル日航奈良 井村
	26日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度定時総会・第2回理事会	奈良市立中部公民館 井阪
7月	9日	京奈和自動車道建設促進奈良県民会議 理事会・総会	奈良商工会議所 井阪
	17日	リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会 理事会	奈良商工会議所 出口、井阪
	25日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度第1回総務部会	奈良市役所 井阪
8月	2日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度第3回理事会	奈良市役所 井阪
	7日	奈良県国民スポーツ大会常任委員会・総会	ホテル日航奈良 中村
	8日	令和6年度 第1回奈良県渋滞対策協議会	奈良国道事務所 井阪
9月	2日	令和6年度リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会 総会	ホテル日航奈良 出口、井阪
	24日	日本銀行 植田総裁との懇談会	リーガロイヤルホテル大阪 出口、中村
	25日	新年名刺交換会 打ち合わせ会議	奈良商工会議所 井阪
	27日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度第4回理事会	奈良市役所 井阪
10月	28日	京奈和自動車道建設促進奈良県民会議	奈良ロイヤルホテル 井阪
11月	6日	なら産地学官連携プラットフォーム 実務者会議	<リモート会議>

	15日	なら産地学官連携プラットフォーム 実務者会議	井阪 <リモート会議>
	28日	奈良県ユニセフ協会 2025年度事業計画・予算役員会	井阪 奈良県経済倶楽部
12月	4日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度第2回総務部会	井阪 奈良市役所
	23日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度第5回理事会	井阪 奈良市役所
1月	8日	橿原商工会議所 新年賀詞交歓会	井阪 橿原神宮会館
	29日	奈良経済産業協会 新年会	中村 ホテル日航奈良
3月	6日	奈良市シルバー人材センター 令和6年度第3回総務部会	出口 三笠公民館
	17日	なら産地学官連携プラットフォーム 企画・運営会議	井阪 奈良国立大学機構
	26日	国民スポーツ大会奈良県準備委員会 第5回常任委員会	井阪 ホテル日航奈良
	28日	奈良県地域産業振興センター 令和7年度予算理事会	井阪 奈良県産業振興総合センター 井阪

8. 役員・委員会名簿

役員（63名）			
代表幹事 2名	出口 悦弘 中村 光良	ディライト(株) 中村建設(株)	取締役会長 代表取締役社長
副代表幹事 5名	和田 悟 菊池 攻 近東 宏佳 上武 敏一 村島 靖基	南都信用保証(株) 奈良トヨタ(株) 共同精版印刷(株) 上武建設(株) 村島硝子商事(株)	代表取締役社長 取締役社長 代表取締役社長 代表取締役会長 代表取締役
特別幹事 4名	山田 善久 北 義彦 吉田 裕 井村 守宏	ワイ・イー・ワイ(株) あいおいニッセイ同和損害保険(株) (株)大和農園ホールディングス (株)イムラ	代表取締役 顧問 取締役会長 取締役相談役
幹事 50名	朝廣 佳子 石田 諭 乾 昌弘 植田 英寛 梅咲 直照 大浦 晃平 角谷 守啓 梶本 真也 菊岡 洋之 菊澤 竜一 北村 ひとみ 小林 正樹 小山 新造 齊藤 正幸 阪田 文彦 佐藤 典嗣 佐藤 雅大 柴田 義太郎 清水 克能 菅生 康清 角田 正之 高木 美香 田中 郁子 谷奥 忠嗣 谷野 守弘 辻 将央 鐵東 敦史 豊澤 安男 中尾 七隆 中村 正徳 中本 勝 西垣 雅史	(株)読売奈良ライフ (株)南都銀行 (株)明新社 (株)中和商事 桜井ガス(株) (株)中和コンストラクション 奈交サービス(株) (株)梶本 (株)本家菊屋 奈良信用金庫 アスカ工業(株) 三和住宅(株) 小山(株) (医)新生会総合病院高の原中央病院 福井水道工業(株) 佐藤木材(株) 佐藤薬品工業(株) (株)柴田衣料店 名阪食品(株) 桜井木材協同組合 (株)伸芽教育 (株)高木包装 (株)柿の葉すし本舗たなか (株)E L S 奈良中央信用金庫 大峰堂薬品工業(株) (株)エヌ・アイ・プランニング 奈良豊澤酒造(株) (株)中尾組 大和信用金庫 あすか法律事務所 西垣林業(株)	代表取締役社長 取締役頭取 代表取締役社長 代表取締役 代表取締役社長 代表取締役社長 取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長 理事長 代表取締役社長 代表取締役社長 取締役会長 理事長 代表取締役 代表取締役 代表取締役社長 取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役 代表取締役社長 取締役会長 取締役 専務理事 代表取締役社長 代表取締役 代表取締役会長 代表取締役専務 理事長 所長 代表取締役社長

	野村 修一	(株)野村工具製作所	顧問	
	萩原 斗志弘	(株)萩原農場	代表取締役	
	畠山 晴衣	(株)サロンまき	代表取締役	
	林 健太郎	野村證券(株)	奈良支店長	
	林田 壽昭	三笠産業(株)	取締役会長	R6.11まで
	原田 隆太	(株)奈良ホテル	代表取締役社長	
	平山 文堂	ダイワ精密プレス(株)	代表取締役会長	
	前川 浩二	(株)都市企画設計コンサルタント	代表取締役	
	真柴 幸雄	ダイシン化工(株)	代表取締役	
	増田 誠	(株)タカトリ	代表取締役社長	
	松井 昭光	(株)墨運堂	代表取締役社長	
	松本 健澄	アルファホーム(株)	代表取締役	
	水谷 豊	(株)あかしや	代表取締役社長	
	森 雅彦	D M G 森精機(株)	取締役社長	
	森田 務	税理士法人森田会計事務所	代表社員	
	森本 俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長	
	吉田 明史	(株)花の大和	取締役社長	
	吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長	
監事	大浦 良幸	大浦貴金属工業(株)	取締役社長	
2名	伏見 及	いたる経営会計事務所	代表	

年頭所感起草委員会（16名）

委員長	出口 悦弘	ディライト(株)	取締役会長
副委員長	中村 光良	中村建設(株)	代表取締役社長
委員	上田 隆	(株)大一電化社	代表取締役
	梅咲 直照	桜井ガス(株)	代表取締役社長
	海保 力也	奈良ダイハツ(株)	代表取締役社長
	上武 敏一	上武建設(株)	代表取締役会長
	上林 久美子	(株)クオリア	代表取締役
	菊澤 竜一	奈良信用金庫	理事長
	北村 ひとみ	アスカ工業(株)	代表取締役社長
	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
	高木 美香	(株)高木包装	代表取締役社長
	中嶋 孝	大勝建設(株)	代表取締役
	中村 浩史	(公財)名勝依水園・寧楽美術館	副館長
	原田 隆太	(株)奈良ホテル	代表取締役社長
	松井 昭光	(株)墨運堂	代表取締役社長
	村島 靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役

企業経営研究委員会（24名）			
担当代表幹事	中村 光良	中村建設(株)	代表取締役社長
委員長	村島 靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役
委員	浅井 達之	西日本電信電話(株)	奈良支店長
	石田 哲夫美	(株)C W S	代表取締役
	泉井 秀之	(株)ヒデノン	代表取締役
	岩崎 達朗	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長
	上田 隆	(株)大一電化社	代表取締役
	太田 嗣郎	三和ゴム工業(株)	代表取締役会長
	梶本 真也	(株)梶本	代表取締役社長
	菊澤 竜一	奈良信用金庫	理事長
	紀ノ岡 幸次	関西電力(株)	理事・奈良支社長
	谷奥 忠嗣	(株)E L S	取締役
	谷野 守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
	南條 秀和	村本建設(株)	常務執行役員奈良本店長
	萩原 隆志	(株)クラブール	代表取締役
	平山 文堂	ダイワ精密プレス(株)	代表取締役会長
	福井 克久	大阪ガス(株)	奈良地区支配人
	伏見 及	いたる経営会計事務所	代表
	真柴 幸雄	ダイシン化工(株)	代表取締役
	八木 崇文	リコージャパン(株)	奈良支社長
	山添 清昭	山添公認会計士事務所	公認会計士・所長
	吉岡 寛人	吉岡印刷(株)	代表取締役社長
	吉田 泰造	(株)関西工務店	代表取締役
	吉田 浩巳	(公社) まちづくり国際交流センター	理事長

地域経済活性化委員会（16名）			
委員長	菊池 攻	奈良トヨタ(株)	取締役社長
副委員長	石田 諭	(株)南都銀行	取締役頭取
	大浦 晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長
委員	安藤 政秀	LGTウェルスマネジメント信託(株)	エグゼクティブディレクター
	泉井 秀之	(株)ヒデノン	代表取締役
	市岡 武	村本建設(株)	専務執行役員
	井村 守宏	(株)イムラ	取締役相談役
	齊藤 正幸	(医) 新生会高の原中央病院	理事長
	清水 孝二	三井住友信託銀行(株)奈良西大寺支店	支店長
	谷野 守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
	轟原 伸哉	オリックス(株)阪奈支店	支店長
	西垣 雅史	西垣林業(株)	代表取締役社長
	松谷 幸和	奈良県信用保証協会	会長
	安武 茂雄	近畿日本ツーリスト(株)奈良支店	支店長
	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役会長
	和田 哲也	(株)三菱UFJ銀行奈良支店	支店長

大阪・関西万博推進委員会委員会（20名）			
担当代表幹事	出口 悦弘	ディライト(株)	取締役会長
委員長	山田 善久	ワイ・イー・ワイ(株)	代表取締役
委員	池田 善紀	JWマリオット・ホテル奈良	シニアセールスマネジャー
	市岡 武	村本建設(株)	常任顧問
	岩崎 達朗	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長
	植田 英寛	(株)中和商事	代表取締役
	梅咲 直照	桜井ガス(株)	代表取締役社長
	小野 丘	ホテル日航奈良	総支配人 R6.12まで
	角谷 守啓	奈交サービス(株)	取締役社長
	梶本 真也	(株)梶本	代表取締役社長
	上林 久美子	(株)クオリア	代表取締役
	北 義彦	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	顧問
	小寺 弘泰	(株)福本設計	代表取締役社長
	田村 昭夫	(社福)ぶろぼの	センター長・課長
	萩原 隆志	(株)クラベール	代表取締役
	松本 健澄	アルファホーム(株)	代表取締役
	水谷 豊	(株)あかしや	代表取締役社長
	森田 育浩	(株)奈良新聞社	企画部長
	安武 茂雄	近畿日本ツーリスト(株)	奈良支店長
	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役会長
	吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

西日本経済同友会会員合同懇談会奈良大会実行委員会（18名）			
担当代表幹事	中村 光良	中村建設(株)	代表取締役社長
委員長	上武 敏一	上武建設(株)	代表取締役会長
委員	天野 三恵子	(株)JTB	奈良支店長
	大浦 晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長
	小野 丘	ホテル日航奈良	総支配人 R6.12まで
	兼貞 孝行	ホテル日航奈良	総支配人 R7.1から
	上林 久美子	(株)クオリア	代表取締役
	小寺 弘泰	(株)福本設計	代表取締役社長
	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
	角田 正之	(株)伸芽教育	代表取締役
	玉井 久実代	玉井産業(株)	専務取締役
	中嶋 孝	大勝建設(株)	代表取締役
	南條 秀和	村本建設(株)	常務執行役員奈良本店長
	萩原 斗志弘	(株)萩原農場	代表取締役
	水谷 豊	(株)あかしや	代表取締役社長
	峯 義孝	セコム(株)	奈良統轄支社長
	門奈 雄大	SMBC日興証券(株)	奈良支店長
	安武 茂雄	近畿日本ツーリスト(株)	奈良支店長
	吉田 英正	吉田電機商工(株)	代表取締役

女性活躍推進委員会（15名）			
委員長	○和田 悟	南都信用保証(株)	代表取締役社長
副委員長	○畠山 晴衣	(株)サロンまき	代表取締役
委員	朝廣 佳子	(株)読売奈良ライフ	代表取締役社長
	○我妻 詔子	(株)我妻運輸	取締役副社長
	市岡 武	村本建設(株)	常任顧問
	○井村 守宏	(株)イムラ	取締役相談役
	上村 知宣	(株)竹中工務店奈良営業所	所長
	大田 高太郎	(株)みずほ銀行奈良支店	支店長
	北村 ひとみ	アスカ工業(株)	代表取締役社長
	齊藤 正幸	(医) 新生会高の原中央病院	理事長
	高木 鎮廣	(株)タカギ	代表取締役副社長
	多田 和子	(株)きらら西田きもの工芸	取締役社長
	○玉井 久実代	玉井産業(株)	専務取締役
	真鍋 歩美	西日本電信電話(株)奈良支店	事業推進室長
	望月 健太	大和証券(株)奈良支店	支店長

○はワーキング部会メンバー

総務委員会（13名）			
担当代表幹事	出口 悦弘	ディライト(株)	取締役会長
委員長	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
副委員長	大浦 良幸	大浦貴金属工業(株)	取締役社長
	佐藤 典嗣	佐藤木材(株)	代表取締役
	松井 昭光	(株)墨運堂	代表取締役社長
委員	天野 三恵子	(株)J T B 奈良支店	支店長
	大浦 晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長
	上林 久美子	(株)クオリア	代表取締役
	菊澤 竜一	奈良信用金庫	理事長
	谷奥 忠嗣	(株)E L S	取締役
	中村 浩史	(公財)名勝依水園・寧楽美術館	副館長
	松本 健澄	アルファホーム(株)	代表取締役
	和田 悟	南都信用保証(株)	代表取締役社長

9. 会勢

令和6年4月1日現在	会員数	179名
令和6年度中における	新入会員数	13名
	交代会員数	10名
	退会者数	5名
令和7年3月31日現在	会員数	187名

新入会者（13名）

4月	中塚 美由紀	日本たばこ産業(株)奈良支社	支社長	
4月	小林 伸嘉	三和建設(株)	代表取締役社長	
4月	谷川 千代則	奈良ヤクルト販売(株)	代表取締役社長	
4月	上田 隆	(株)大一電化社	代表取締役	
4月	石田 哲夫美	(株)CWS	代表取締役	
4月	丸 敏幸	(株)丸産業	代表取締役社長	
4月	八木 崇文	リコージャパン(株)奈良支社	支社長	
4月	上林 久美子	(株)クオリア	代表取締役	
4月	紀ノ岡 幸次	関西電力(株)	理事・奈良支社長	(再入会)
4月	海保 力也	奈良ダイハツ(株)	代表取締役社長	
4月	野添 智子	野添産業(株)	代表取締役社長	
7月	戒田 真	ノボテル奈良	総支配人	
1月	保科 幸真	住友林業(株)住宅事業本部奈良支店	支店長	

交代入会者（10名）

4月	門奈 雄大	SMB C日興証券(株)奈良支店	支店長	
4月	山本 直人	みずほ証券(株)奈良支店	支店長	
4月	勝呂 薫	損害保険ジャパン(株)奈良支店	支店長	
4月	岩崎 達朗	(株)三井住友銀行奈良法人営業部	部長	
5月	東 康之	積水ハウス(株)奈良シャームゾン営業所	所長	
7月	杉本 昌弘	奈良生駒高速鉄道(株)	代表取締役社長	
10月	土屋 宗一郎	キリンビール(株)大阪奈良支店	支店長	
1月	兼貞 孝行	ホテル日航奈良	総支配人	
1月	村井 浩	奈良県信用保証協会	会長	
3月	笹島 昭則	第一生命保険(株)奈良支社	支社長	

退会者（5名）

5月	加地 章浩	日本電気(株)奈良支店	支店長	
5月	中西 知	(株)アイプリコム	取締役相談役	(休会)
7月	東 良太郎	東都(株)	代表取締役	
1月	林田 壽昭	三笠産業(株)	取締役会長	
3月	和田 悟	南都信用保証(株)	代表取締役社長	

10. 資料

令和6年度事業計画

奈良経済同友会

令和5年度の我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、社会経済活動の正常化が本格的に進んだ。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きがみられ、これまで続いてきたコストカット型経済から持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済へ変革するチャンスを迎えた。

他方、中東情勢やウクライナ紛争などの地政学リスクによる世界的なエネルギー・食糧価格の高騰が続く中国経済の低迷が加わるなど世界的な景気後退懸念などから、我が国経済を取り巻く環境は依然厳しいものとなった。

令和6年度においては、官民連携した賃上げに加え定額減税の効果もあり個人消費が回復に向かうと予想されるとともに、設備投資意欲の後押し等が相まって、民間需要主導の経済成長が実現することが見込まれる。内需を中心に緩やかな景気回復が続くとともに、インバウンド需要の増加も期待される。

また、消費や生活のトレンドを創り出すミレニアル世代やZ世代の動向を取り込むとともに、ワークライフバランスやウェルビーイングを基本とした労働環境の改善、構造的な賃上げやリスクリング支援も含む人への投資、サプライチェーンの再構築・強靱化、デジタルトランスフォーメーション（DX）やグリーントランスフォーメーション（GX）などへの投資など、急速な状況変化への対応が迫られている。

一方、我々の足元の地元経済をみると、人口減少が急速に進んでおり、若年労働力の県外流出や労働力人口減少に伴う人材確保難に加え、時間外労働の上限規制などの急激な環境変化に直面している。これらの困難を克服するためには働き方改革への対応、DX・GXへの取り組み、SDGsの追求などを行うとともに、引き続き地元の特性を生かした高付加価値の製品やサービスを創り出すことを求めている。

我々はこれらの諸課題を乗り越え、地域経済の確かな担い手として、独自の戦略と自主・自立の精神でこの大きな時代変化に即応していかなければならない。加えて、我々企業経営者は社会課題の解決と社員のモチベーション高揚を図るパーパス経営を踏まえつつ、情報発信力強化と地域社会への提言力向上をめざし、以下の事業計画を策定し、実行する。

<事業計画>

I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。
中和地区での例会等開催機会の拡大。
- (2) 先進地域、企業の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 会員相互の親睦を広めるため、家族親睦会、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (4) 海外視察研修の実施

II 委員会活動の充実・拡大

令和6年年頭所感に掲げた項目を基本に、奈良県の地域活性化に資するため、大学、行政等とも連携しながら、各委員会において、研究、活動を強化充実し、提言をまとめる。令和8年開催予定の西日本経済同友会会員合同懇談会実行委員会を立ち上げ奈良への会員誘致の準備活動に入る。

III 同友会の存在価値を高め、将来的に同友会活動を担える会員の確保をめざし、長期的視野にもとづき会員増強に取り組む。

IV 当会事業のデジタル化推進・拡充

- (1) 例会等行事のリアル・オンライン並行実施
- (2) e-mail・ホームページによる会員向け情報発信の拡充・強化

V 「行政との意見交換会」の実施

社会インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的实施

VI 「ネットワーク」活動の充実

- (1) 「全国経済同友会セミナー」「全国経済同友会代表幹事円卓会議」「西日本経済同友会会員合同懇談会」「西日本経済同友会代表者会議」「関西財界セミナー」などへの積極的な参加と連携の強化
- (2) 「関西6経済同友会代表者懇談会」「滋賀・奈良・和歌山情報交換会」への参加・交流
- (3) 「なら産地学官連携プラットフォーム」「奈良県大学連合」「奈良県地域留学生推進会議」はじめ大学、行政、県内経済団体等との連携

VII 2025年大阪・関西万博来場客の県内への誘致推進

VIII 関係諸経済団体との連携のもと、京奈和自動車道並びにリニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の早期全線開通促進

以 上

令和7年年頭所感

奈良経済同友会

代表幹事 出口 悦弘

代表幹事 中村 光良

昨年は、新年早々、能登半島地震、羽田空港では飛行機衝突事故が発生し、まさに激震の走る年明けだった。また、夏には地球沸騰ともいわれる連日の猛暑に見舞われた。国内の政治情勢では10月の総選挙で与党が過半数割れとなり30年ぶりに少数与党による不安定な政権運営へ移行、米国では11月の大統領選挙で共和党トランプ候補が勝利し、今後の内向き政策への復活が想定されるなど、内外の先行きの不透明感が増す年となった。

さらに、ロシア・ウクライナ、イスラエル・ガザの2つの戦争は収束の見込みが立っておらず、アジアにおける軍事的緊張を高める要因ともなっている。

一方、我が国の経済状況をみると、円安に伴う輸入価格の高騰、物価高、原材料価格の高騰が続いているものの、インバウンド需要の拡大や企業によるデジタル化に向けた取り組みがサービス産業の業績を押し上げていることなどから景気は緩やかな回復基調にある。

令和6年の我が国出生数は70万人割れが確実視されており、さらに少子高齢化が進んでいる。こうしたことを受けて労働人口減少の動きが一段と加速し、雇用においては、女性、高齢者だけでなく、外国人の活用を前提とした人材確保の流れがより現実化しており、中小企業においても人材の争奪戦が激しくなっている。

人手不足、人材難を乗り越えて企業が生き残っていくためには、自社の生産性向上が基本となるが、多様な人材を活用するとともにリスクリング、リカレントで従業員の能力アップを図るなど新時代への適応を進めていかなければならない。また、IT化、DXで業務のデジタル化、組織全体の変革を図るとともに、自社製品・サービスの付加価値生産性を上げ、引き続き自社製品の値上げ、賃上げにも取り組んでいかなければならない。

そのような中であっても、単に機械化、効率化に走るのではなく、働く「人」一人ひとりが持つ可能性に焦点を当て、企業において「人」が果たす役割や「人」の価値について改めて見直していきたい。

一昨年にコロナが明けて次第に笑顔も戻ってきている。4月からは大阪・関西万博が開催されることで、本年は人の動きが活発になることが期待される。我々は「人」を大事にする経営で笑顔を絶やさない、心がワクワクする地域を築いていきたい。

当会では、例会、委員会活動などを通して経営者として企業や社会のあるべき姿について学習し議論を重ねているが、本年もより良い社会、より良い奈良県をめざし、提言を行い行動する同友会として活動を続けていく所存である。

本年の事業活動の基本的な考え方及び活動内容は、下記のとおりである。

記

1. 人口減対策を考える

奈良県の人口は、約131万人（2022年）で、ピークの約145万人（1999年）から23年間で14万人余り減少している。率にして約1割の減少で、そのスピードは加速傾向にある。地域活性化のためには、地域の人口が維持され、地域の賑わいが保たれることが必要であり、人口減をいかにして食い止めるかが大きなテーマとなる。人口減対策においては、将来を担う子どもをいかに増やすかが問われるかもしれないが、子どもをつくる、つくらないは基本的には個人の価値観に基づくものであり、子どもの存在だけに過度な期待はできない。

人口減対策では、行政の果たす役割が大きい。男女の出会いの場の提供、子育て・介護の支援（育児、介護休暇の推進）、不妊治療などできめ細かい支援施策が望まれる。一方、地域の魅力づくりも欠かせない。有力企業の県内への誘致、さらに人材バンクの提供で、県内事業所と求職者とのマッチングをおこない安定的な県内雇用をはかることで、より住みやすく、より働きやすい奈良県にしていかなければならない。また、学校教育においては子供たちの地域に関する学習機会を増やし、地域への関心を育て、シビックプライドを醸成していくことを求めている。

我々としても、ただ行政に委ねるだけでなく行政とともに地域にかかわっていきたいと考えている。これまでも、育児休暇、介護休暇については女性だけでなく男性も取りやすく働きやすい職場をつくることには取り組んできたが、さらに人口減の抑制について民間の立場で何ができるかについて、今後調査研究、議論を重ねていきたい。

2. 地域連携を軸に地域経済活性化

奈良県は大阪、京都など主要都市からの道路、鉄道のアクセスが良く、しかも地価も比較的安価であり、産業立地としての潜在力は大きい。産業集積ビジョンに基づく適切な都市計画の整備で計画的に産業集積を形成していくことが期待される。

地域経済活性化のために、産地ブランドの構築を模索しつつ地域内企業の連携、強化のあり方を探る。同業種内や同地域内の企業の横のつながりを重視し、役割分担を担い、共同研究や共同事業を行うなどの関係をつくり、地域としての競争力強化を図る方策を示していきたい。

現在、奈良教育大学と奈良女子大学が統合して設置された奈良国立大学機構では、大学、地方自治体、経済団体、県内企業などが連携して地域活性化に取り組む産地学官連携プラットフォームが活動しており、引き続き当会もこれに参画し、地域経済の活性化に貢献していきたい。

3. 奈良のブランド価値を考える

奈良県の観光入込客数は令和元年に4,500万人とコロナ禍前まで順調に増加、令和2～4年のコロナ禍でいったん減少したものの、いま再び復調してきている。インバウンドも以前の賑わいを取り戻している。

奈良県の観光の課題については、これまで数々の議論が行われてきた。それらを集約すると、①日帰り中心（滞在時間が短い）②観光消費額が少ない③観光客が県北部（特に奈良公園）に集中している、となるのではないかな。

これらの課題を解決するには個々それぞれに組みが必要となるだろう。ただ、そうした対症療法的な施策だけでなく、奈良の観光、特に奈良の持続的な観光活性化を図るためには、奈良のアイデンティティあるいは奈良のブランド的価値などをもう一度振り返って考える必要があるのではないかな。

奈良には確かに他府県にない魅力がたくさんある。しかし、観光客にそれが何かを感じてもらえなかったら、「大仏」と「鹿」という定番的な奈良観光で終わってしまい、宿泊するもしくはリピーターになる動機にはつながらないだろう。たとえば、町並み、食、宿泊施設、生活文化、まちの景観など、まち・地域全体を貫く「伝統と文化」が感じられるような奈良にしかないブランドを築き上げていくことが必要ではないだろうか。奈良の根源的な魅力とは何なのか、それをどのように発信すればよいのかについて改めて考えてみたい。

4. 将来の奈良県経済の基本となる道路インフラの整備

将来の奈良県経済の発展の基本となるのは、道路インフラの整備であるが、奈良県の国道および県道を合わせた道路整備率は全国平均約61%に対し奈良県は約34%（全国最下位）と遅れている。

県内移動の快適性や時間の短縮は奈良県の長年の課題であり悲願でもある。働く場所の確保のための企業誘致や県南部への観光周遊、奈良県域を巡る観光の魅力づくり、東西の物流や防災のために、県内のスムーズな交通体系の整備・構築が是非とも必要である。

現在、奈良県を南北に貫く京奈和自動車道については、全線の早期開通が待たれるところであるが、それに加えて県内のその他一般道路についても整備改善が求められる。県内のミッシングリンクの解消や道路拡幅、信号系統の整備等により県内の総合的な交通体系の整備が進められることについても引き続き要望を重ねていきたい。

5. その他

大阪・関西万博は本年4月から大阪夢洲にて開催されるが、そのもたらす経済波及効果への期待は大きく、会場に近接する奈良県にとってもいのち輝く未来社会における新たなビジネスチャンスが生まれることを期待したい。観光面ではインバウンドだけでなく国内客にとっても奈良観光をアピールする絶好のチャンスであり、当会としても万博を契機として奈良の魅力提供の機会を増やし、今後の奈良観光活性化につなげていきたい。

令和8年10月には、当会は奈良市において、西日本地区の17の経済同友会会員が一堂に会する第123回西日本経済同友会会員合同懇談会を開催する。奈良を舞台にして講演会、シンポジウム、懇談会、エクスカーション等を実施する予定。西日本各地の経済同友会会員が参加し交流を図るとともに、奈良の魅力を提供し地域経済への波及効果をねらう。参加人数（予定）は500名。現在、同懇談会実施に向けて実行委員会を立ち上げ準備を進めている。

奈良経済同友会は、上記の事項を踏まえ、本年も引き続き、奈良県の地域活性化に向けた活動を行うとともに、サステナブルな奈良県構築に向けた社会及びビジネスのあり方に関して研究および発信を進めていきたいと考えている。

以上